

人間ドック・健診事業による予防医療にFMDを活用しています

大阪市立大学医学部附属病院 先端予防医療部附属クリニック **MedCity21**



大阪市立大学医学部附属病院は、2014年4月に公立大学法人として全国で初めて健診事業を行う施設である先端予防医療部附属クリニック MedCity21を「あべのハルカス」21階に開設しました。大阪市立大学が有する研究・解析力により、疾患の発症予防因子の発見や、発症前保因者および発症超早期を診断する新規のバイオマーカーの開発を通して予防医療の推進に寄与して参ります。

高精度な予防医療の実践を中心に健康事業を行っています

健康寿命の延伸を望む声が高くなっている今日、人間ドック・健診事業による予防医療を推進し、疾患の発症前あるいは早期段階で対応する必要性があります。当施設では、大学病院の持つ専門性の高い人材と高度先進医療を生かした健診及び診療を行い、主にがん、脳卒中、心臓病、糖尿病といった生活習慣病などに対して、高精度で確実な診断による予防医療の実践を目指しています。

FMDは動脈硬化の早期発見に有用

脳卒中、心臓病などの脳心血管疾患を予防するためには、その原因となる動脈硬化の早期発見が鍵となってきます。動脈硬化は血管内皮機能障害が引き金となって進展していくため、動脈硬化の初期変化を捉えるためには血管を内皮機能から評価していくことが重要であると考えられます。このことから当施設では、開設に合わせて従来の動脈硬化を評価する指標（血圧脈波検査、頸動脈超音波検査、頭頸部MRA検査）に加え、血管内皮機能を評価するFMD測定装置の導入を決め、人間ドックの様々なコースに組み入れています。

多様なコースにFMDを組み入れています

現在、当施設では全身をバランスよく検査するための人間ドックを4コース、気になる臓器を中心に検査する専門ドックを4コース、その他にオプション検査を多種ご用意し、受診者の幅広いご要望にあわせた組み合わせで選択することが可能となっています。血管内皮機能検査FMDはライフスタイルコースとエグゼクティブコース、心臓ドックコースの標準検査として組み込まれています。また、標準コースのオプション検査として追加して受診していただける様にもなっており、標準コースを選択され動脈硬化検査に関心のある方には、今後も積極的に検査をお勧めしていきたいと考えています。

ライフスタイルコース (昼食付)

- 生活習慣病から生じる様々な病気を、早期に見つけるためのドック。標準コース(上部消化管検査は除く)に、MR、CTによる画像検査・超音波検査・骨密度測定・糖負荷試験などの血液検査を追加した健診内容。

エグゼクティブコース 要宿泊 (夕食・昼食付)

- 健診施設にある検査機器をフル活用。様々な角度から全身を調べることで病気の早期発見を目指します。
- 健診は1日目午後から開始し、2日目の午前中までの1泊2日で実施。(宿泊:大阪 Marriott 都ホテル)

心臓ドック コース

- CT、X線、超音波検査、心電図検査などの検査と血液検査で心臓血管系の状態を重点的に検査。動脈硬化症、心筋梗塞、狭心症、不整脈など心臓疾患の早期発見を目指します。
- 標準コース同時受診可

(平成29年7月作成)

「健康へ 血管を意識し 大切な未来へ」